

蜷川地区で県道大方大正線 蜷川〜上川口区間の竣工式

平成3年から20年にわたって拡張工事が行われてきた県道大方大正線の蜷川〜上川口間（国道口から大井出橋までの3.2km）。平成23年12月に完成し、1車線道路が歩道付きの2車線道路に整備されました。

県道の完成を祝って、5月23日、蜷川地区で竣工式が開催されました。町長、町議、県議、県幡多土木事務所長らが出席した神事の後、旧蜷川小学校にて10俵（約1万5000個）のもち投げが行われ、地区内外からたくさんの方が集まり、大いににぎわいました。

金子幹仁区長は、「整備により、安全に通行できるようになった。また、であいの里蜷川の利用者増や、農産品の出荷増などの効果も期待している」と話していました。



王迎地区で布ぞうり作り



金子國男さんに教わりながら、布ぞうり作りに挑戦。2時間集中して頑張った子は、片足分ができました。

王迎地区では、毎年ゴールデンウィーク頃に、子どもの日をお祝いするイベントを行っています。今年は4月29日に、小学生ら8人と地域住民が参加し、布ぞうり作りを行いました。

先生は、小学校の頃からわらぞうりを作っているという金子國男さん。布ぞうりは、ワラの代わりに、5センチ幅に切った木綿の布を使います。子どもたちは、「むずかしい。だんだん細くなる」「まあまあきれいにできた」と言いながら、初めての布ぞうり作りに取り組んでいました。

このほか、地区の方が手作りした竹とんぼや竹鉄砲でも遊ぶなど、元気いっぱい楽しんでいました。

動物のお医者さんから 童謡詩集300冊寄贈

獣医師・宮地忠義さん（黒潮町有井川出身）が、高知県畜産試験場などでのかわいい動物たちと触れ合ったときの想いをしたためた童謡詩集「こぶたさんⅡ」を300冊寄贈していただきました。

宮地さんの申し出により、町内の保育所児童のご家庭にお配りしました。



童謡詩集を寄贈してくださった宮地忠義さん(左)。かわいイラストも、宮地さん自身で描かれたそうです。

○お問い合わせ

本庁 健康福祉課 福祉係

☎ 43-2116 (直通)

アカウミガメ産卵の季節です

5月中旬から8月中旬頃まで、黒潮町の海岸にはアカウミガメが産卵のため上陸します。今年最初の産卵は、5月16日に入野海岸で確認されました。

黒潮町では、ウミガメの卵を海への流出や、冠水、鳥獣食害などから保護するため、いったん掘り起こし、岸寄りに設置したふ化場へ移動させています。保護した卵は、8月中旬から9月末頃の間には、ふ化し、海へ放流しています。

町内海岸で、ウミガメ産卵の痕跡などを発見した場合は、左記までご一報ください。



ウミガメ保護員の吉村脩さん。入野海岸で朝夕の痕跡確認や卵の掘り起こし、ふ化場への移植、子ガメの放流を行っています。

○お問い合わせ

本庁 産業推進室 商工観光係

☎ 43-2113 (直通)